

museum start

あいうえの

since 2013

聞こえない、聞こえにくい、聞こえる人が
一緒に作品を鑑賞する 4 日間

みるラボ： つなぐ力を つなぐ

2025

8.20_水

8.30_土

8.31_日

9.13_土

10:00
~16:00

全 4 日間のプログラム

日本語と手話で進行します

場所 東京都美術館

定員 16 名

15~18 歳の方対象

参加者募集中

2025
NEXT
CREATION
PROGRAM

ネクスト・クリエイション・プログラムとは、子供たちの芸術文化への夢や個性に寄り添いながら豊かな才能の開花を後押しすることを目指し、東京都と公益財団法人東京都歴史文化財団が子供向け芸術文化体験プログラムを実施します。子供たちがより深く、より高いレベルで学ぶことができるよう、自らが興味関心を持つクリエイションの現場に入り、各分野の第一線で活躍するプロフェッショナルから指導を受けることができます。

こんな人におすすめ！

アートに興味がある

美術館に行くのが好き

いろんな人とつながりたい



「大地に耳をすます 気配と手ざわり」展、2024年、東京都美術館

プログラム内容

聞こえない、聞こえにくい、聞こえる人が美術館で専門家と出会い、一緒に作品を鑑賞し、思考し、実践する4日間のアート・コミュニケーション・プログラムです。背景の異なる人たちと一緒に、お互いの違いを理解し、受け止めながら、人と作品、人と人、人と場をつなげる人「ティーンズリンカー」として、未来の美術館について考えます。美術館は作品を通じて多様な価値観に出会い、楽しむことができる、すべての人に開かれた場所です。背景の異なる人たちが美術館を一緒に楽しむためのアイデアを自分たちで考え、最終日にプログラムとして実践してみましょう！

DAY1 8.20 水 ・共に過ごすためのエクササイズ
・展覧会を知る・鑑賞する

DAY2 8.30 土 ・ミュージアムを知る
・プログラムをデザインする①

DAY3 8.31 日 ・プログラムをデザインする②

DAY4 9.13 土 ・プログラムを実践する

プログラム実施時間 — 10:00～16:00 (各日共通)

情報保障について

プログラムは、日本語と手話で行います。手話通訳がつきます。音声認識アプリや筆談を取り入れてコミュニケーションをとります。活動に寄り添うアート・コミュニケーター（とびラー）*の中にも聞こえない、聞こえにくい人がいます。

*アート・コミュニケーター（とびラー）とは？

東京都美術館と東京藝術大学の連携事業「とびらプロジェクト」に所属する大人たち。3年間の任期の中で、アートを介し、様々な価値観を持つ多様な人々を結びつけるコミュニティのデザインに取り組んでいます。とびラーは、年齢も性別も職業も障がいの有無もさまざま。現在は、聞こえる人、聞こえない、聞こえにくい人が一緒に活動しています。プログラムでは、学び合う仲間として、共に過ごします。

鑑賞する展覧会 つくるよろこび 生きるためのDIY

会期：2025年7月24日（木）～10月8日（水） 会場：東京都美術館 ギャラリーA・B・C

DIY（Do It Yourself/ 自分でやってみる）の手法や考え方に関心を寄せる、5組の現代作家と2組の建築家の作品を展示します。身の回りのものでつくる作品や、多様な人が関わる場のデザインに加え、震災や経済的な事情により何もない場所に立たされた人々の切実な営みにも焦点を当てた展覧会です。



お問い合わせ先

Museum Start あいうえの 運営チーム
(東京都美術館 × 東京藝術大学)

✉ aiueno@museum-start.info

☎ 03-3823-6921 (東京都美術館 代表番号)

デザイン：イワタナオキ (ダイナモデザイン)
写 真：中島古英

museum start

あいうえの

since 2013

とは？

上野公園に集まる9つの文化施設が連携し、大人とこどもが共に学ぶ場を作り出していくラーニング・デザイン・プロジェクト。ミュージアムの体験が世界への豊かな冒険の入口となるようにデザインしています。

【主催】東京都 / 公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都美術館 / 東京藝術大学

【共催】上野の森美術館 / 恩賜上野動物園 / 国立科学博物館 / 国立国会図書館国際子ども図書館 / 国立西洋美術館 / 東京国立博物館 / 東京文化会館 (五十音順)